

令和2年度教科用図書採択協議会 選定理由（中学校各教科）

種 目	発 行 者		選 定 理 由
	番 号	略 称	
国 語	2	東書	学習指導要領に示された「言葉による見方・考え方」を働かせながら生徒が言語活動に取り組めるよう工夫されている。小学校で学習していない漢字にルビを付けていることも生徒の学びの助けになると思われる。「情報の扱い方に関する事項」で示された内容が、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習を通して扱われており、どの教材で扱われているのかが巻頭に示されている。デジタルコンテンツが充実しており、古典の音声や資料映像、文法ゲーム、練習問題、補充問題などがあり、家庭での予習・復習に活用できる。
書 写	17	教出	手本の字について書き方のポイントや分析が丁寧に掲載されており、各教材ごとに学習後の自己評価がしやすいように工夫されている。書写に関する資料も詳しく、3年間の学習の流れをイラストで示し学年を貫いた学習の見通しがつけやすくなるように工夫されている。他教科の「ノートの取り方」が紹介されていることから、学んだことを実生活や学習場面に活用することができるよう配慮されている。
社 会 (地理)	46	帝国	図版資料が多くその地域の特徴がよくわかるような工夫がされるとともにSDGsに関する記述が充実しており、未来に向けて学習できるように構成されている。1単位時間毎に学習課題と連動する「確認しよう」と「説明しよう」が設定されており、授業のまとめと振り返りが容易にできる。地理的な見方・考え方を働かせて、新学習指導要領でめざす「対話的な学び」、「深い学び」の実現に配慮されている。2次元コードの数が多く、今後普及すると思われるタブレット端末を利用し、インターネットで動画を見る等の多様な学習方法に対応している。
社 会 (地図)	46	帝国	歴史的分野や公民的分野の教科書との連携を強め、特に防災や環境などについて地方別に多面的、多角的な考察ができるように配慮されている。世界および日本の地図数、目的別の資料数、索引に掲載されている地名数などいずれも豊富で充実しているため、調べ学習などに使いやすい。2次元コードで示された動画やクイズ等の家庭での自主的な学習やタブレット端末を活用した授業形態に適している。コンテンツが充実しており、地名のふりがなも多く、地図上の文字の可読性を高め、特別な支援の必要な生徒への配慮がされている。
社 会 (歴史)	46	帝国	時代を概観する大きなイラストにより、時代の特色を比較しやすい工夫がなされており、歴史的な流れの因果関係をきちんと見通した授業構成になっている。単元ごとに「見通し」をもたせるための「章の問い」や「学習のふりかえり」活動が設定されており、知識の積み重ねだけでなく、深い学びにつながるよう工夫されている。ICTを活用する観点から、教科書に「QRコード」が示され、教科書会社のウェブサイトで動画やワークシートを活用する工夫がされている。
社 会 (公民)	46	帝国	全ての学習内容に対して、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」の項目が設定されており、それぞれのページで何を学習するのが分かりやすく構成されている。章の振り返りが充実しており、基本的な学習内容から発展的なところまで確認することができる。「アクティブ公民」という項目で生徒の興味・関心を高めるような課題が設定されており、現代社会の見方・考え方を深める学習が展開できるようになっている。
数 学	61	啓林館	話し合いや発表などを通して、自分の考えを深めさせることを目的として、各章に「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」などの場面がある。各章の章末問題「学びを確かめよう」では、どこで学習した内容が分かるように関連内容とそのページを記載している。巻末には、章の学習が終わったあとに総仕上げをするための問題数も多く、学びの記録をつけて理解できたところの確認がしやすくなっている。
理 科	4	大日本	単元のはじめに「既習事項」と「これから学習する内容の関連性」を示しており、学習者自身が既習事項をもとに見通しをもって取り組みやすくなっている。巻末では「探究の進め方」の中で、具体的な課題をもとに生徒にわ

			かりやすく探究の過程を示す工夫がみられる。また、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして、生徒が問題の発見や見通しに主体的に取り組めるよう、観察や実験の結果分析、考察を生徒に考えさせる場面のページを設定するなど、深い学びができるよう工夫が随所に見られる。教科書のサイズが小さく、重さも540gと軽く扱いやすい。
音楽 (一般)	27	教芸	それぞれの教材で学習内容を見開きで示し、色分けされている。歌唱教材数が多く生徒が学びやすいものになっている。創作では、表現するための技能がイラストや図で説明されており、生徒の思いや意図をどのように生かすかがわかるように工夫されている。鑑賞教材では、生徒の発達段階と題材のねらいに合ったものを選択し、学習を進める上で有益な写真や譜例、資料などを多く使って、わかりやすいものになっている。
音楽 (器楽合奏)	27	教芸	各教材と学習指導要領の内容との関連を「学習内容」のページで明確に示し、バランスのよい学習が行われるように配慮されている。ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの楽譜の並行掲載やスモールステップでの教材が配列によって生徒が無理なく取り組めるようになっている。「深めよう音楽」「Q&A」等のコーナーにより、音色や奏法を工夫できる手がかりが、わかりやすく記載されている。
美術	116	日文	原寸大の鮮やかな図を多く掲載し、学年の成長段階に応じた扱いがしやすいように三分冊構成にしている。『美1』は「美術との出会い」として、身近な対象を設定し、『美2・3上』では、「学びの実感と広がり」として、生活に息づく伝統工芸への理解を深める題材を、『美2・3下』では、「学びの探求と未来」として、課題解決型の学習で、社会に生きるデザインを考える題材を設定している。生徒の言葉を作品に添付することで、同じ目線に立ったアイデアに刺激を受け、制作意欲が増すような工夫がされている。
保健体育	224	学研	各単元のはじめに、小・中・高校で学習される内容の系統性が示されている。小単元の導入部分で、身近な問題についての発問があり、学習意欲の向上に繋がるように工夫されている。題材の基本的な学習の流れは、「学習の目標」→「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめ・深める」の4段階で、生徒の学習活動に配慮した構成になっている。
技術	9	開隆堂	ガイダンスでは技術の見方、考え方について多くの例を挙げてわかりやすく説明している。1時間の学習の流れを見開き1ページに示し、学習の流れを意識した構成になっている。すべての実習例で考え方や流れを明示しており、問題解決のための実習であるということが理解しやすくなっている。実習活動の技能が必要なところは、QRコードを使った作業動画が適切なページに配置されており、視覚的に確認できるところも生徒の理解の助けになる。
家庭	9	開隆堂	生徒の自主的、自発的な活動が促されるよう、資料・手引き等に他教科とのリンクマークを数多く付けている。また、2次元コードを閲覧できる資料や写真、挿絵、図表も豊富である。「主体的・対話的で深い学び」の流れが示されており、生活を見つめ、学んだことを生活に生かすための流れが具体的に示されている。
英語	15	三省堂	基礎的・基本的な知識となり、英語学習を支える新出単語数が多い。2次元コードでは、単語と本文の音声を確認することができる。小学校における学びとの接続のため、第1学年の教科書ではstarterの他にもLesson1～3までが中学校での学びの接続となるように構成されている。「つづり」と「発音」については各Lessonの「Take Action」で第1学年から第3学年まで、継続して学習できるように設定されている。各Lessonの構成が、「学習の見通し」「基礎的・基本的な知識や、活用のための技能の習得」から「文構造、文法事項の振り返りとまとめ」までバランスよく構成されている。
道徳	116	日文	道徳教育に関する4つの視点に沿って、多くの教材で構成しており、教師が選択しやすいものとなっている。道徳科の「学び方」や学習に関わる「問い方」について、具体的に説明が挿絵などで示されている点については、学習者側からすれば非常にわかりやすい。別冊のノートが準備されていて、評価資料として使いやすい。教材の内容については「生命の尊さ」「いじめ問題」等、バランスよく配列されている。